

# 全国学力・学習状況調査 小学6年生（4月17日実施）

平均正答率	国語	算数	理科
市	70.0	59.0	61.0
県	69.0	60.0	60.0
全国	66.8	58.0	57.1

観点別 平均正答率	国語		算数		理科	
	知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
正答率	市	77.6	66.7	69.4	45.5	60.6
	県	78.5	64.9	68.2	48.9	59.0
	全国	74.5	63.8	65.5	48.3	55.3

## 学力調査の概要

### (1) 良好な項目

- ◇国語科では、「書くこと」「読むこと」において県平均よりも正答率が高くなっている。
- ◇算数科では、記述式問題において無回答率が県や全国平均よりも低くなっている。「図形」の領域において正答率が高くなっている。
- ◇理科では、「生命」の領域において正答率が高くなっている。花のつくりや発芽するための必要条件など観察や実験を通して定着できている。

### (2) 課題がある項目

- ◇国語科について、話し手の考え方と比較しながら、自分の考え方をまとめることや、目的に応じて文章や図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることに課題がある。
- ◇算数科では、目的に応じて適切なグラフなどを選択して判断し、その理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。説明の記述について正答率が低くなっている。
- ◇理科では、電気を通す金属、磁石に引き付けられる金属について混同して覚えている実態がある。また電気の回路について理解が不十分であった。

## 質問紙調査結果の概要

### (1) 良好な項目

- ◇「自分にはよいところがあると思いますか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目は肯定回答が全国・県を上回っている。
- ◇「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の肯定的な回答が全国・県を上回っている。
- ◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の項目では、肯定回答が全国・県を上回っている。
- ◇「地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることができますか」の項目では、肯定回答が全国・県を上回っている。

### (2) 課題がある項目

- ◇「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」の項目は全国を上回っているが、「理科の勉強は好きですか」の項目について、全国・県の数値を下回っている。
- ◇「理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか」の項目は県・全国の数値を下回っている。

# 全国学力・学習状況調査 中学3年生(4月17日実施)

平均正答率	国語	数学	理科 IRT スコア
市	57.0	44.0	493
県	53.0	45.0	501
全国	54.3	48.3	503

観点別 平均正答率	国語		数学	
	知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
正答率	市	52.7	58.3	52.0
	県	46.5	54.6	51.2
	全国	48.1	55.3	54.4
			31.3	34.8
			39.1	

## 学力調査の概要

### (1) 良好な項目

- ◇国語科「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いたり、相手の反応を踏まえたりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する問題において、県・全国平均を大きく上回っている。
- ◇数学科「関数」において、グラフから必要な情報を読みとる項目や、「図形」において、証明を振り返り辺や角の新たな関係を見出す項目について、県平均を上回っている。
- ◇理科において、「エネルギー」「地球」の領域において、正答率が県・全国を上回っている。

### (2) 課題がある項目

- ◇国語科では、工夫を伝える文章を書く、文章の効果について自分の考えとその理由を書く、修正した方が良い部分を見つけてその理由を書くといったように記述の問題において正答率が40%を下回っている。
- ◇数学科では、外角の位置や1次関数の増加量の問題など基礎的な問題について定着が十分でない単元があった。また証明を完成させたり、考え方を説明したりする問題について無回答率が高くなっている。
- ◇理科では、全体の結果を示すIRTスコアが県より8ポイント下回っている。特に、大地の変化に関する「粒子」の領域についての正答率が40%を下回っている。

## 質問紙調査結果の概要

### (1) 良好的な項目

- ◇「分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定的回答は、全国・県と比較して上回っている。
- ◇「読書は好きですか」「地域の大人に、授業やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることができますか」の項目では、全国・県の肯定的回答を10ポイント程度上回っている。
- ◇「1、2年生の時に受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目では「ほぼ毎日」という回答が全国・県を大きく上回っている。

### (2) 課題がある項目

- ◇「将来の夢や目標をもっていますか」の項目において、肯定的な回答が全国・県を下回っている。
- ◇「ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができるか」の項目では肯定的回答が全国・県を下回っている。
- ◇「授業以外に普段1日あたりどれくらいの時間勉強しますか」の項目において、「2時間以上」と回答する生徒が17.6%と県36.2%、全国30.8%と比べると低くなっている。